

7月～9月 梅雨明け前から熱中症警戒 9月も残暑長引く

向こう3ヶ月の平均気温

平年との差

7月

8月

9月



気象庁は今日25日、7月から9月にかけての3か月予報を発表。気温は全国的に7月から9月にかけて平年よりも高い見通し。昨年2023年の夏は、過去最も暑い夏となりましたが、この夏も異例の猛暑となる可能性もあります。梅雨明け前から万全な熱中症対策を心がけてください。

7月も梅雨空と蒸し暑さ続く



九州から東北は梅雨入り早々、大雨となった所がありますが、この先一週間も梅雨前線の活動が活発になるため、西日本を中心に大雨のおそれがあります。

28日頃にかけて梅雨前線が停滞しやすいため、西日本を中心に連日大雨となり、警報級の大雨となるおそれもあります。土砂災害などの危険性が高まるおそれもありますのでご注意ください。

7月1日は九州から北海道は曇りや雨の梅雨空でスタートとなりそうです。2日は九州や近畿、関東などで晴れ間が出る見込みです。

一足先に梅雨明けしている沖縄は、この一週間、高気圧に覆われて晴れるでしょう。

最高気温は関東から北海道を中心に平年を上回る日が多く、蒸し暑さが続きそうです。

予想される向こう3か月の天候(2024年07月～)

平均気温は、北日本で高い確率50%、東・西日本で高い確率60%、沖縄・奄美で高い確率70%です。降水量は、西日本で平年並または多い確率ともに40%です。

7月

北日本と東日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。東日本太平洋側と西日本では、期間の前半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

8月

北日本では、天気は数日の周期で変わるでしょう。東・西日本と沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

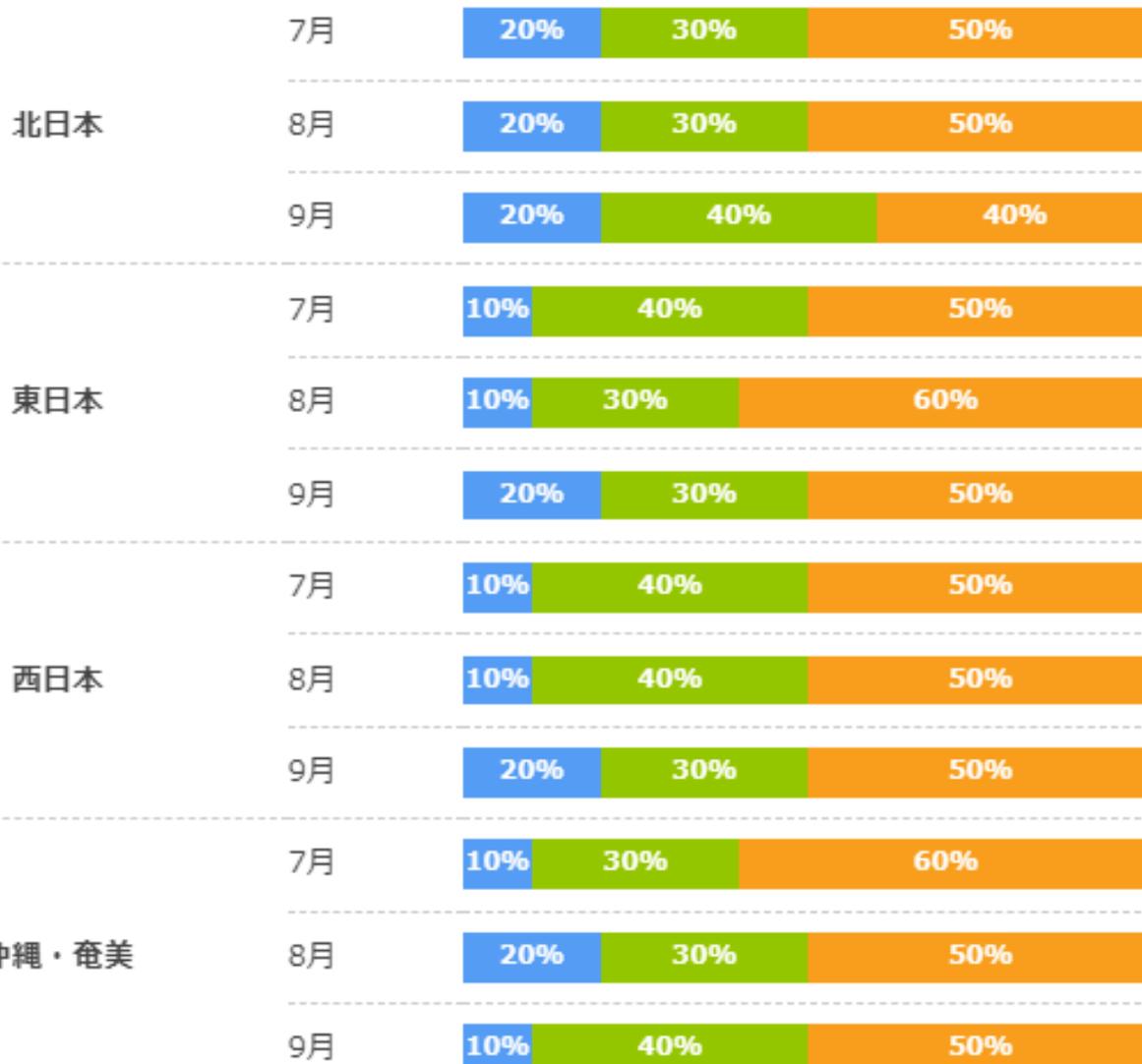
9月

北・東日本と西日本日本海側では、天気は数日の周期で変わるでしょう。西日本太平洋側と沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

向こう3か月の確率(%)

■ 平年より低い(少ない) ■ 平年並 ■ 平年より高い(多い)

気温



降水量

